

令和8年度 研修研究員制度 募集要項

1 趣旨

地方公共団体金融機構（以下「機構」という。）は、全ての地方公共団体の出資による地方共同法人であり、地方公共団体の健全な財政運営に寄与することを目指しています。本制度は、将来にわたり地方税財政に関する研究を行う意欲のある大学院修士課程又は博士課程に在学する者を研修研究員として受け入れ、機構が研究活動に係る支援を行うことにより、我が国の地方税財政に関する研究の将来を担う研究者を育成することを目的として実施するものです。

2 定義

研修研究員とは、将来にわたり地方税財政に関する研究を行う意欲のある大学院修士課程又は博士課程に在学する者であって、機構の支援を受けて研究活動を行う者をいいます。

※ 機構との雇用関係はありません。

3 活動期間

研修研究員としての活動を行う期間は、大学院に在学する期間の内、推薦者の定める期間とします。

※ 複数年度にわたることも可能です。受入れ後に期間を変更する場合は、事務局までご連絡ください。

4 支援内容

機構は、必要があると認めるときは、研修研究員に対し、次の支援を行います。

- (1) 機構名称や名刺の使用
- (2) 機構が主催する研究会等への出席
- (3) 会議室の提供、コピー機等の使用
- (4) 地方支援部図書の利用、求めがあった図書の機構による購入及び貸出
- (5) 日本財政学会及び日本地方財政学会参加のために必要な旅費等の補助

※ 機構名称を用いて外部に調査等を行う場合には、あらかじめ機構の許可を得る必要があります。

※ 機構が必要と認めるときは、研修研究員の了解を得て、調査研究業務の補助等を行っていただくことがあります。この場合、機構は研修研究員に報酬及び旅費を支払うことがあります。

5 応募資格

本制度に応募できる者は、次の要件を全て満たす者としてします。

- (1) 大学院修士課程又は博士課程に在学する者
 - (2) 地方財政学会に属する大学教授等（推薦者）による推薦を受ける者
- ※ 推薦者は、当該学生の大学院における指導教授又はそれに準ずる者とし、当該学生の研修研究員としての活動に係る責任を負うものとしてします。
- ※ 各推薦者による推薦は、年度当たり1名を上限とします。

6 応募方法

- (1) 必要事項が記載された経歴書（様式第1号）及び推薦書（様式第2号）を、地方支援部調査室のアドレス（chousa@jfm.go.jp）あて提出してください。
なお、応募は随時受け付けております。
※ 応募は日本語に限ります。
※ Microsoft Wordファイルにて送信してください。
- (2) 受信後、機構から応募を受け付けた旨の返信をします。メール送信後3日（土・日・祝日及び12月29日～1月3日を除く。）以内に返信がない場合は、機構までご連絡くださるようお願いいたします。

7 受入れの決定

研修研究員の受入れは選考委員会の審査を経て決定し、応募者及び推薦者にメールにて通知します。

- ※ 審査の過程及び結果についての質問には応じられません。
- ※ 希望者が多数の場合は調整を行う場合があります。

【参考】選考委員会

（敬称略・学識者委員五十音順、◎：委員長）（令和8年4月現在）

◎ 東京大学名誉教授	神野 直彦
青山学院大学名誉教授	堀場 勇夫
地方公共団体金融機構理事長が指名する同機構役職員	

8 受入れの取消し

理事長は、研修研究員が機構の信頼を損ねるなどの場合には、受入れの決定を取り消すほか、必要な措置を取ることがあります。

9 個人情報の取扱い

機構が本制度に関して取得する個人情報は、選考作業や選考結果の通知など本事業に関する業務のほか、機構の事業の実施に必要な範囲に限定して取り扱います。

10 その他

この要項に定めるもののほか、本制度の実施に関し必要な事項は、機構が別に定めるものとします。

地方公共団体金融機構 地方支援部 調査室 〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1 - 3 市政会館 Tel : 03-3539-2835 E-mail : chousa@jfm.go.jp URL : http://www.jfm.go.jp/support/josei.html
--

経歴書

1 研究者基本情報	
ふりがな 応募者氏名	○○○○ ○○○○ ●● ●●
生年月日 (西暦)	●●●●年 ●月 ●日 (●●歳)
大学・学部等	○○大学
研究科等	○○研究所
課程等	○○
所属研究室名等	○○研究室
住所	〒●●●●-●●●● 東京都○○区○○○○ ○-○ ○○○○○○ ○号室
電話番号 (研究科等)	●●●●-●●●●-●●●●
E-mail アドレス	●●●●@○○○
自宅	〒●●●●-●●●● 東京都○○区○○○○ ○-○ ○○○○○○ ○号室
電話番号	●●●●-●●●●-●●●●
携帯電話番号	●●●●-●●●●-●●●●
E-mail アドレス	○○○○@●●●●

・記入に当たっては、文字サイズ、行間等の書式を変更しないよう注意してください。

・審査の結果に関わらず、記載いただいたメールアドレスに当機構が実施する研究会、フォーラム等のご案内を送付してもよろしいかご選択ください。

メールの送付を希望する メールの送付を希望しない

2. 経歴及び研究テーマ

(経歴 (大学から記入願います。))

●●●●年●月－●●●●年●月 ●●大学 ●●学部
●●●●年●月－●●●●年●月 ●●大学院 ●●科 ●●課程
●●●●年●月－ 現在 ○○大学院 ○○科 ●●課程

(研究テーマ)

- ・ □□□□に関する研究
(以下概要)
- ・ □□□□について
(以下概要)

様式第2号(第6条関係)

推薦書

ふりがな 被推薦者氏名	○○○ ○○○○ ●● ●●
生年月日 (西暦)	●●●●年 ●月 ●日 (●●歳)
大学院名	○○大学 ○○研究所
研究科等	●●科
課程等	●●
所属研究室名等	●●研究室
推薦理由	※ 当該研究員について、その推薦理由を記載ください。
活動期間 (予定)	年 月 日～ 年 月 日

上記のとおり推薦します。

●年 ●月 ●日

推薦者名 : ○○ ○○

所属大学等名 : ○○大学

所属・職名 : ○○研究所 ●●

被推薦者との関係 : ○○○○○○○○

所属学会名 : ●●学会

連絡先 (電話番号) : ●●●●-●●●●-●●●●

(メールアドレス) : ○○○○@●●●●